



令和3年度9月補正予算の概要

ひとりひとりの行動が
福岡を救う。日本を救う。

福岡県





令和3年度9月補正予算のポイント

1 予算編成 の考え方

- 「新型コロナウイルス感染症対策」として、下半期における病床・宿泊療養施設の確保や県民へのワクチン接種の加速化などに取り組むほか、「安全・安心の確保」、「地域活性化等」に必要な経費を計上。

2 補正予算 の規模

(単位:百万円)

区分	当初予算 A	現計予算 B	9月補正 予算 C	9月補正後 予算 D=B+C
一般会計	2,136,138	2,478,913	78,369	2,557,282
特別会計	944,897	944,897	0	944,897
計	3,081,035	3,423,810	78,369	3,502,179

3 主な内容

(単位:百万円)

項目	予算額	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国庫	県債	その他	
○新型コロナウイルス感染症対策	71,821	69,686	0	20	2,115
○安全・安心の確保	6,480	3,877	2,040	638	△ 75
○地域活性化等	68	0	0	39	29
合計	78,369	73,563	2,040	697	2,069

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 14億円
繰越金 7億円



新型コロナウイルス感染症対策

医療提供体制等の強化

■ 医療提供体制の強化

感染拡大の状況を踏まえ、下半期の所要額を措置

- 入院病床、宿泊療養施設を確保 565億2,520万3千円(現計予算:530億2,692万8千円)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる入院病床を確保(1,480床)
 - ・ 軽症、無症状の患者を受け入れる宿泊療養施設を確保(12施設、2,400室)
- 入院患者を受け入れる医療機関を支援 13億8,750万円(現計予算:4億3,200万円)
 - ・ 患者1人当たり30万円の支援金を給付



<宿泊療養施設>

■ 保健所体制の強化

- 県保健所職員を増員 1億2,815万4千円(現計予算:2億1,054万5千円)
 - ・ 疫学(陽性者の行動歴等)調査に従事する保健師等の資格を有する会計年度任用職員を増員(25人増)
 - ・ 陽性者の情報管理に係るデータ入力等の事務に従事する会計年度任用職員を増員(11人増)

ワクチン接種体制の強化

新規

○ 中小企業や大学等の職域接種を支援 2億3,815万8千円

- ・ 職域接種に使用する会場の設置・運営費を助成

[補助対象] ・ 複数の中小企業が商工会議所等を事務局として実施するもの

・ 大学等が所属学生も含め実施するもの

※大学等には、短期大学、高等専門学校、専門学校を含む

[対象経費] 会場使用料、備品購入費等（1,000円×接種回数を上限）



<職域接種の様子>

○ 個別・集団接種を促進 29億3,591万2千円(現計予算:24億4,221万8千円)

- ・ 通常の接種単価(※)とは別に接種回数や人員を増やした医療機関に対し、上乘せ支給

	診療所	病院
個別接種	<p>① 50回以上/日の接種を行った場合に、10万円/日を支給</p> <p>② 「8・9月」及び「10・11月」の各期間中に4週間以上、 ア 100回/週 の接種を行った場合は、2,000円/回 イ 150回/週 の接種を行った場合は、3,000円/回 を支給(①との重複は不可)</p>	<p>③ 通常診療と別に人員を確保し、50回以上/日の個別接種を週1日以上達成した週が、「8・9月」及び「10・11月」の各期間中に4週間以上ある場合は①に追加支給 [補助単価] 医師：7,550円/人・時間 看護師等：2,760円/人・時間</p>
集団接種	<p>④ 11月までの期間中、時間外・休診日に市町村の集団接種会場に医師・看護師等を派遣した場合に支給 [補助単価] 医師：7,550円/人・時間 看護師等：2,760円/人・時間</p>	

(※) 医療機関に対する接種単価(市町村から医療機関へ支払われるもの)
2,070円/回(時間外加算 +730円、休日加算 +2,130円)

治療薬の開発

○ 治療薬の共同開発事業を推進 2,000万円

- ・ バイオベンチャー・株式会社ボナック（久留米市）のAMED事業（※）採択を受け、変異株を含めた治療薬の有効性評価を県保健環境研究所と同社が共同で実施

（※）国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）公募事業。令和3年4月にボナックを中心とした核酸医薬を用いた治療薬の開発事業（総事業費50億円）が採択された。



＜採択を受けた際の県とボナックによる共同記者会見＞

生活困窮者の支援

○ 失業等により収入が減少した世帯を支援 88億5,686万7千円（現計予算290億2,566万2千円）

- ・ 生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）の申請期間を延長
 - [緊急小口資金] 貸付上限20万円、無利子
 - [総合支援資金] 貸付上限180万円（60万円（3か月分）×3回）、無利子
 - [申請期間] 令和3年8月末を令和3年11月末まで延長



安全・安心の確保

- **道路の安全を確保** 40億9,482万4千円
 - ・ 歩道や交差点の改良工事、橋りょう点検等を実施



<歩道整備(工事後)>

- **流域治水の推進(農地・農業用水利施設の機能向上)** 17億7,233万円
 - ・ 用排水路や排水施設を整備



<用排水路整備(工事後)>

- **洪水・土砂災害防止対策等による地域防災力の強化** 10億6,830万6千円
 - ・ 河川の護岸を整備、砂防施設を設置
 - ・ 港湾の防砂堤改良工事を実施



<河川の護岸整備(工事後)>



地域活性化等

地域活性化

- 日田彦山線沿線の地域振興を支援 3,943万円(現計予算:1,419万6千円)
 - ・【新】東峰村、添田町が実施するBRT利用促進のための取組を支援
 - 〔 駅と目的地をつなぐ二次交通可能性調査(東峰村) 〕
 - 〔 添田駅及び彦山駅の周辺整備(添田町) 〕
 - ・【新】観光拠点創出に向けた英彦山宿坊跡の整備を支援
 - ・【新】英彦山エリアへの映画等のロケーション誘致に向けた可能性調査を実施

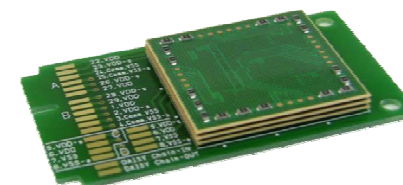


<英彦山神宮の参道>

新たな成長産業の創出

新規

- 先端半導体産業の拠点を構築 2,540万7千円
 - ・ 国の新戦略に対応するため、業界動向・県内企業の強み等を徹底分析
 - ・ 専門家の企業訪問・助言等により、ビジネスマッチングを推進
 - ・ 高度で多様なニーズに対応できる企業人材の育成を進め、企業誘致を加速



<自動車や情報通信機器などに用いられる先端半導体>

新規

- 北部九州自動車産業新構想を策定 352万4千円
 - ・ 100年に一度と言われる自動車業界の大変革に対応するため、1年前倒しで新構想を策定
 - ・ CASE(※)やカーボンニュートラルに対応した技術動向や将来展望を調査分析

(※) 自動化や電動化などの次世代技術やサービスを意味する造語